



## みちかにある「いのち」のひみつを見つけよう

お早うございます。いつの間にか春が過ぎて、夏が近づいてきました。今日はあいにくの雨で体育館での月曜朝会ですが、桃五小の校庭にもよおおくと見ると、いろいろな生き物が来ていて、面白い発見もたくさんできそうなのです。

今日は、桃五の校庭で見つけられる「生き物の不思議さがし」というお話をします。いつもと違って今日はいろいろな面白発見の話をいくつもします。ひとつでも、見てみようかな、やってみようかな、と思うことがあったらうれしいです。

昨日と一昨日あたりにアゲハ（ナミアゲハ）の幼虫を探しました。でも、去年と違って、今年はあまり見つかりません。

さて、蝶の幼虫は、どこをどうさがせばいいでしょう。蝶には幼虫の時に食べる木や草が、蝶の種類ごとに決まっています。食草と言いますが、蝶の種類によって違うので、違う場所に種類ごとにすむことで敵から身が守れたり生きていくのに便利だったりします。また、同じ種類の木や草に虫が群がってしまうことがないので食べ物がなくなったりすることがないようになっているといわれています。他の虫だって、例えばクヌギの受益が好物のカブトムシやクワガタ虫、カミキリムシやオオスズメバチなどは、同じ受益の出る木に集まりますが、ちゃんと虫の種類によって集まる時間帯が違ってきます。

さて、アゲハの幼虫の食べ物はミカンの木の仲間の葉っぱです。桃五小にもミカンや夏ミカン、グレープフルーツ、山椒などがあります。でもその木のところに行ってもどこにいるのかなかなか見つからない時があります。どうすればいいと思いますか。

蝶の幼虫も生き物です。ミカンな葉っぱを食べているのですから、葉っぱを食べた後（食痕）を見つければいいのです。それと、同じく生き物ですから、葉っぱを食べたらそのあと糞をします。真っ黒でまあいコロコロした糞がその木の下に落ちているはず。そうやって探すと見つかりやすいのです。

ところで、ミカンの葉っぱをアゲハの幼虫が食べた後の形を見たことがありますか…。まるでコンパスで円を描いたように丸く丸く削るように食べていきます。なんでだと思いますか。蝶の幼虫の足は何本でしょう……。たくさんあるように見えますが、脚は体の前の方に2ずつ3組6本。でもその後ろにもいっぱい足があるように見えますが。あれは吸盤です。

そして、3組6本の脚のうち一番前の足2本で葉っぱを抱えて、食べます。でもなぜ円のようになるのでしょうか。実は、蝶の幼虫の口に秘密があります。私たちの口は縦に開け閉めする横の口です。でもこの子達は横に開け閉めする縦の口です。（手でその様子を示して）そう、2本の前脚で押さえて、縦の口で食べていくと…。ほら、コンパスで円を描くように食べる跡がまあるくなりますね。パリパリパリとま歩く食べて、ころりんとウンチをする。静かな夜、仕事をしながら横にミカンに葉の幼虫がいると、パリパリパリ・・・コロリン、パリパリパリ・・・コロコロ・・・。

ところで、ミカンの木の下のコロコロウンチならアゲハです。でもね、サクラの木の下で黒いコロコロウンチだと・・・、黒い大きなサクラケムシです。これはさしたりはしませんが、ちょっと気をつけてください。これが、樺の木やサザンカの木の下で黒いコロコロウンチだと、大変！すぐに離れてください。チャドクガと言って、触ったり近づきすぎると、手や足、首筋、全身が赤くただれて、熱が出てしまったり大変なことになります。ついこの前、先生の家でもひどいめにありました。

この後蝶はさなぎに変身します。さなぎに変身するところは、先生はまだ見ていないので、もし見ることができたらその様子、先生に教えてください。

このサナギがこの先蝶になるのにもいろいろな面白いことが起きるのですが、それはこの次の月曜のお話でしますね…。

今日からさっそく、校庭を探検しても白いことたくさん発見してみてください。身近なところにも面白いこと、いっぱいあるはず。お話し終わります。